

第23, 24期新旧理事・監事合同会議議事録

日時 昭和61年7月21日(月) 13:30~14:30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 山元, 松本, 田宮, 土屋, 浅井, 廣田, 松野,
山岸, 河村, 吉野, 杉村, 股野, 立平, 能登,
丸山, 関口, 荒川, 重原, 村上, 中村, 山川,
相原, 浜田

議事

A. 報告事項

1. 各委員会報告

[庶務]

資料にもとづき報告があった。主なものは次のとおり。

- (1) 「朝日賞」候補者の推薦依頼。
- (2) 東レ昭和61年度科学技術賞ならびに研究助成候補者の推薦依頼。
- (3) 第13回日産学術研究助成候補者の推薦依頼。
- (4) 非線形水波 IUTAM シンポジウムの協賛依頼, 協賛承認。

[会計]

資料にもとづいて昭和61年度第1・四半期の収支状況及び6月分の収支状況について報告があった。

[国際学術交流]

(1) 国際学術研究集会

7月4日委員会を開催して、申請のあった3件について審査した結果、出席補助金を出すことに決定した。ただし、手続き上の条件が未だ充足されていない場合はそれが満たされることが前提である。

受領者および出席研究集会は次のとおり

- ア. 中沢哲夫(気象研究所) モンスーンとメソ気象学国際会議
- イ. 新野 宏(気象研究所) 第3回成層流体に関する国際シンポジウム
- ウ. 早坂忠宏(東北大理学部大学院生) 北京国際放射シンポジウム

(2) 数値予報シンポジウムの募金について

数値予報シンポジウム実行委員会の中に気象庁OBと学会役員で構成する募金委員会(10名)を設けて募金を行う。募金委員会は趣意書を作成のうえ論文集発行に必要な経費の不足分について募金を行う。

2. その他

昭和62春季大会について

筑波地区を会場とし、気象研究所をはじめとする研究機関が協力する体制でとりくむ予定である旨吉野理事から報告があった。

B. 審議事項

1. 引き継ぎ事項について

田宮(第23期)庶務担当理事から次のような引き継ぎ事項の説明があり確認した。

(1) 監査指摘事項

ア. 気象研究ノートの計画通りの発行

イ. 国際学術交流事業の財源獲得努力

ウ. 日本学術会議法改正に伴う法的体制の整備

(2) 事業計画中的非ルーチン的事項

ア. 数値予報シンポジウムのプロシーディングスの気象集誌特別号としての発行

イ. 国際学術交流基金のための団体からの募金開始

ウ. 学術用語集気象学編改訂版の発行

エ. 事務機械化, PC-9801 VM4 のソフト, データの整備

(3) その他

ア. 事務局体制, 特に対外国事務の強化

イ. 会員増に関する努力

その他, 山本賞推薦作業を, 昨年の選定規定改正の趣旨のとおり進めることを含めることとし, 第24期へ引き継がれた。

2. 新入会員の承認について

個人会員金野由行ほか31名の新規加入が承認された。

最後に山元理事長から第23期理事・監事の協力に対し感謝の意を表する等の挨拶があり合同会議を終了した。